

一昔前には結婚式には必ず仲人がいた。この頃は結婚式で仲人を置くことが少なくなったようだ。私のモーニングは衣替えもせずに紙箱の中で長い間納まったままである。

私は教授になってしばらくしたころに初めての仲人をやった。教会での結婚式であった。式の直前に尿意を催した。白い手袋を脱いでトイレへ行った。

慌てていたので排尿後尿滴下の尿がモーニングの股から膝の所にかけてかかった。私はハンカチで前を隠して廊下を窓側を向いて式場に帰った。

加齢とともに尿の切れが悪くなる。泌尿器の教授によると、排尿後に尿道に残っていた尿が水滴のようにズボンをぬらす症状を『排尿後尿滴下』というそうだ。加齢現象の一つであるが、比較的若くてもこの症状を訴える人は多い。

排尿後に尿滴下した尿はズボンの中に納まった場合、尿は大腿部から下腿部にかけて冷たく流れ落ちる。「今そこを流れている」という流れの先端を、感覚として自覚できることが多い。人生のうちには「気持ち悪ー」と感じることはいくつもあるが、この感覚は最も不愉快なみじめさが伴う感覚のひとつである。

多くの場合、右か左の一方で両側を伝わり落ちることは少ないと思われる。ステテコは水分を布に染み込ませる働きをすることにより「ひやりとした厭な気分」を軽減させることに役に立つ。

ズボンの外側に滴下した場合には、目立つか目立たな

いかはズボンの色による。黒のズボンではほとんど目立つことはない。紺の場合意識的に見つめられない限り見破られることはない。しかしモーニングのようなねずみ色のズボンを濡らした場合には、誰でもわかる。尿は黒いシミになって大腿部一面を覆うことが多い。時には黒い線状になって地図状を呈する。

表面をさっと濡らすだけなので数分で乾いて他人に目をつけられることは少ないが、教会での結婚式の仲人に生じた場合は隠すのが難しい。

仲人は新郎新婦を真ん中にして招待客の前に立つからである。私の場合、なるべく横向きにして両足を縮めていたが、全員が私の下半身の水玉模様を注視しているような気がした。

手には歌詞を抱えていた。私は歌誌を次第に下げて太ももを隠した。

何故女は男より長生きするか？「女は座って排尿するが、男は立ってするからだ」と珍妙な説を県会議員から聞いたことがある。

私は、この頃他人が見ていないトイレでは座って排尿をするようにしている。

